



# AEDの 特徴と 各部の名称

操作が1・2・3のステップで使用可能

音声による操作ガイダンス

電気ショックが必要かどうかをAEDが判断

小型・軽量（1.5～2kg）で持ち運びが容易

バッテリー駆動（バッテリー寿命は約4年）

メンテナンス・フリー（セルフテスト機能）

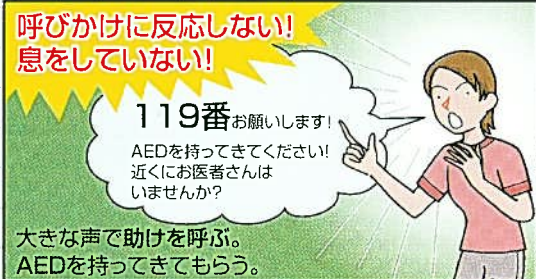


# AEDの 使い方

## AEDをくみこんだ救命処置の流れ (ガイドライン 2005 対応)

# 1

### 意識の確認 応援を呼ぶ



# 2

### 心肺蘇生法



気道を確保し、呼吸が無ければ…

あごをあげて気道を確保し、呼吸を確認。  
呼吸が無ければ、人工呼吸を2回行います。

救助が来るまで  
**30:2** (胸骨圧迫:人工呼吸)の組み合わせで救命処置を継続します。

人工呼吸を2回行い、つづいて胸骨圧迫を30回行います。これを1サイクルとして2分間(5サイクル)実施します。

※人工呼吸は状況によって行わなくとも良い場合があります。

# 3

### AED到着



②パッドを装着し、解析を行います。



③誰も傷病者に触れていないことを確認。  
通電ボタンを押す。

